夕刊
八月八日發行
定價 一ヶ月 郵金共 五拾錢
廣告料 一行 拾錢 特殊廣告 一行 拾錢
編輯印刷兼發行人 柏木哲
福島縣磐城郡平町田町十六番地
發行所 磐城新聞社
電話 平 五六四番
（日曜祭日翌日休刊）

擔がれた話

平―大津間道中コント

酒井孤村

十二

何うせ食はずに膳を下げてしまつたのです、好奇心を心ゆく計り滿足させた僕は已に東京へ往つたとすれば後の氣掛りも無し、昨夜から僕等に掛けた迷惑其の罪輕からず大に食はざるべつと頭を持ち上げて枕をしてけんやゝと僕獨得の理由を見出したのです。手取早く五本指で二三品やらかしました、女中がお愛想にビールを注いで呉れるのを縮けうです。そよ〳〵と涼風が樣に五六杯傾けました。こ音信れたと思ふと額の汗をんなうまいご馳走にあり付そつと拭いて呉れます。誰かうとは夢更々考へてゐなか團扇で僕をあふいで居るかつたのです、二三本はま樣子です。さや〳〵と衣擦たゝく間に平げました、女れの音何か囁く聲僕は眼を中はどん〳〵運んで來るの開きました、枕許には一人です、さあ斯うなつたら意の異性が座つてゐました、氣軽昂です、槍でも鐵砲で醉ふた僕を慈母のやうに看も持つて來い、鬼でも蛇でも出て來い、一人二人は面倒臭い束になつて來い、とめでございますか、妾でございます』僕は頭はぐらつとして心臓が止まるやうな氣がしました

犬

草間桔梗

捨犬よ
なぜ苦しまねばパンを得られないのか
お前にはわかるだらうか
飼犬よ
遊んでゐても眠つてゐても
おいしいものを得られるのは何故か
お前には分るだらうか

疑惑

この憂鬱な灰色の空を
昨日の澄み切つた青い空と
同じ空なんだらうか
嬉しい時にじむ涙と
悲しい時あふれる涙と
同じ涙なんだらうか

鷺

杉浦城

花に遊び雄鷺を待つやみもち鷺
渡り來て汚れしままや春の鷺
春愁やねむりこけたる鷺の老
鷺の子が孵る日近き新樹かな
鷺の卵落ちさうにして若葉かな
薫風や鷺の抜け羽ポケットに
薫風の帽子に白き鷺の糞
青嵐や餌を啣む鷺矢のやうに

客中偶成

珠鑿　小野蕉本

久客天涯未得回
夢馳鄕萬小茅台
破窓聽盡旬餘雨
只願凶荒不復來

小説

高橋是清

(87)　松浦泉三郎作

佐々木今朝吉畫

夢　魔　(二)

桔梗家の女中が、敷居際膝を折ると、まゝ吉の背

下る（明治四）△關東大防空演習開始（昭和八）△初代駐日エ領事ダバビル氏國都出發（同一〇）

8月9日―10月三）△阿蘇山噴火（嘉永七）△黄海大海戰開始（明治三七）△京阪神に再び猛雨、被害甚大△芥川賞に石川達三、直木賞に川口松太郎氏決定（昭和一〇）

久客天涯未得回
夢馳鄕萬小茅台
破窓聽盡旬餘雨
只願凶荒不復來

小説

高橋是清

(87)　松浦泉三郎作

佐々木今朝吉畫

夢　魔　(二)

桔梗家の女中が、敷居際膝を折ると、まゝ吉の背

と、宮本に本田

『どころで』

兵藤は一段と聲を落して

綴けた

『彼奴いつまでもこの儘に捨てゝおいては癖になる。今度かゝる事のないやうに一番今夜はこッぴどく懲らしめてやりたいと思ふがどうだらう？』

『宜かろう』

『大いにやつた方が宜いぞ！』

『よし。然らは一ッ懲らしてやらう。若先生は御見物！』

兵藤と言ふ男が、二人の藝妓と三人の半玉とを、座敷の隅へ追ひやつて

『若先生。宮本も本田も耳を貸して呉れ』

と、聲を落じて、

『若先生も皆さんも、桝吉姐さんがゐなくなると、屹度、もう歸る〳〵……』

別の一人の半玉が

『かへるの目玉に灸すえて……』

黄色く笑つて手を叩いた

『こいつが！』

兵藤が拳を振上げると、大仰に聲を擧て跳び退いて

『何か惡い相談をしたのでせう』

『惡い相談、あッはッ…』

兵藤は三人を顧みて笑ふと

『惡い相談どころか、暑氣忘れの、近頃面白い座興の相談だ。お前達にも見せられるかも知れん。一緒に來い』

ぞろ〳〵と廊下へ流れ出た。桝吉は廊下で、この家の女將に會ふと

『ちよいと伺ひたい事が……！』

と、話しかけられて、和喜次を表に待たした儘、女將の部屋で話しこんでゐた和喜次は、どんちやん騒ぎの座敷が、急にひッそりしたので、まゝ吉が、直ぐ出て來るものと思つてゐたが、直ぐには來なかつた。少しすると、男と女の笑ふ聲が聞ゐて、玄關へ出て來るらしい樣子だし、相當、桝和吉郎としての自分と、顔馴染の妓達が多かつたので、顔を見られては蒼蠅いと思つて、そッと外へ出ると、隣家の軒下の薄暗がりに蹲つてゐた

と、間もなく、どや〳〵と出て來た數人の中から、目敏く和喜次を見付けた半玉が

『まあ。あんな所にます吉姐さんの兒さんが……』

と、指差した

それを聞くと、和喜次は

『いけない』

と、呟いて、顔を背けた

『又例の若造の惡戯と睨みましたが如何でせう？』

『うん。さうかも知れぬの！』

『確かにそうだ』

『いま〳〵しい奴』

『面白いぞ』

兵藤は立ち上つて、

『おい皆、歸るぞ』、

と、女達に向つて言つた

『あら、もうお歸り』

藝妓の一人が言ふと、一番お俠らしい半玉の一人が懲らしてやつたが宜い。見物しやうとも。充分やんなさい』

『ちよいと伺ひたい事が……！』

と、話しかけられて、和喜次を表に待たした儘、女將の部屋で話しこんでゐた和喜次は、どんちやん騒ぎの座敷が、急にひッそりしたので、まゝ吉が、直ぐ出て來るものと思つてゐたが、直ぐには來なかつた。少しすると、男と女の笑ふ聲が聞ゐて、玄關へ出て來るらしい樣子だし、相當、桝和吉郎としての自分と、顔馴染の妓達が多かつたので、顔を見られては蒼蠅いと思つて、そッと外へ出ると、隣家の軒下の薄暗がりに蹲つてゐた

と、間もなく、どや〳〵と出て來た數人の中から、目敏く和喜次を見付けた半玉が

『まあ。あんな所にます吉姐さんの兒さんが……』

と、指差した

それを聞くと、和喜次は

『いけない』

と、呟いて、顔を背けた

敢て某氏に誨ふ

(三)

沙門大應

又、某氏は現代の僧侶に『性慾にも物質的にも誘惑覺醒者とされざる木强漢』たる事を要求してゐるが、性慾も物質慾も知らざる木强漢に如何にして生の人間が教化出來るか

釋迦の十二年の苦行の結果である『佛教と言ふ眞理』を、某氏は如何に理解してゐるのか、要するに之が大問題なのである

佛教とは一言にして言へば、佛陀になる事である。佛陀とは、梵語の音釋であり、意味は『覺醒者』である。『性慾にも物質的にも誘惑覺醒者とは人生の眞理を悟つた者であり、眞の人間の教である。換言すれば、人としての義務を果さんとする者である

『法句經三七六』に『慈悲の行爲をなし、義務を完うし、頓極に達する者は、此世界を輝かす』と言つてゐる。『塵掃衣』を着て『跣足で托鉢』するのが僧侶だと思ふのは大なる謬見である。『塵掃衣』よりもサッパリした衣物の方が民衆で嬉ぶし『跣足』で歩くよりも下駄を履く方が遙かに効果的な事は某氏も認めざるを得まい。佛言はざるを得ない。我等は生活狀態を問題としてゐるのではない、

某氏よ、君の非難に價して、敢て小乘佛教徒と稱する者は、ホンの一部似而非僧侶のみである事を知り、君の偏狹なる僧侶觀を是正して、速に眞の佛教外護者たれ

（終）

株ハ一株ヨリ、債券ハ一枚カラ賣買致シマス。
反部株式店
平町三丁目
電話一七七番

御禮
生ビール發賣以來連夜豫定の樽數を賣盡し有難う存じます。
就ては御禮として毎土曜日を黑ビールデーとして御奉仕いたします。
平　會館　電六二四

銅器・竹製品・籠盛花投入一式
生花用花器
平町一丁目　和久井屋　電四〇五番

大至急
會員募集
年齢、學歷を問はず堅實なる婦人を望む
平町紺屋町
上原家政婦會
電話二二番

公社債株式現物賣買
照山株式平支店
主任　常盤光威
福島縣平町田町五
振替東京八八一六三番
電話四十六番
小店員募集（十五、六才）
委細面談

電話番號變更
五十嵐産婦人科醫院
平町新川町一二
醫學博士　五十嵐雄二
電話三六九番
（入院應需）

七夕祭飾附材料
飾玉提灯。大小判色紙。吹流用ワク大・中・小。虫玉。テープ各種。ラッキーモール久壽玉（四寸ヨリ二尺マデ）パラピン製折紙。久壽玉用カゴ（尺ヨリ三尺マデ）
其他御注文ニ應ジ如何樣ノ形ニテモ出來マス。
平町一丁目
敎育玩具雜貨屋
森下商店
商號豆屋

磐城の御みやげ品
名物　靈峰羊羹　金十錢
姉妹品　柿羊羹。のり羊羹。沼ノ内辨天羊羹。
御旅のお出入には好個のお土産品です。
小寶御希望の方お申越下さい。
製造發賣元
平屋賣店
磐城駅前

時代の要求皆樣の足!!
尼子タクシーへも
豆タクが入りました。
御玄關から玄關へ…迅速簡便
是非御利用を……。
市内…三〇錢　市外…四割引
流線型セダン、大型貸切バス
宮行は直通は二丁目尼子自動車部より發車いたします。
平町二丁目
尼子自動車商會
電話六四〇番

（手術室完備　入院隨時）
平町南町五二
根本産婦人科醫院
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番

弊院儀今般都合により元郵便局裏、三町目裏川岸通へ移轉仕り從前通り診療に從事仕り候間右謹告仕り候
平町田町五
明雲堂眼科醫院
新妻幸之助
電六六九

神佛祭葬具一式
造花製造販賣
引物一式取扱
其他旗類一式取扱
博盛堂
店主　松本幸松
平町撫槌小路一番地
電話（呼出）五三五番

外科、內臟外科
エックス光線科
院長　安齋徹
新設……産婦人科　醫學士　黑澤廣
入院隨意　平町田町
安齊醫院
電話四七五番

御日燒けの
御顏の御手當に就て
海水浴の御日燒け、殘暑の御日燒け等は、御顏の『美』を一層傷つけるもので御座いますから、其の際は必ず御手當が必要で御座います。私共の化粧院は御日燒けには獨特のオゾン理容法による御手當を致しまして皆樣が御滿足のいく限りの御化粧に努めてをります。
海水浴の御歸り、或は殘暑の御日燒けの御手當には是非水野化粧院迄御立寄下さいませ。
昭和十一年八月
平驛前
美容結髮
水野化粧院
主　水野冬子
電話六七八番
自宅　平町四軒町水野商店
電話五二五番

全町擧げて夢幻境化
冷涼の夜を彩る七夕
手間と費用を吝まずに
智能を總動員して出し物のお仕度

山田支店長時代の七十七銀行と町内切つての尖端人大谷時計組合長となかや洋服店との名トリオによつて平町の七夕が本格的にはじめられて五年目、本町通り全体としても今年で四年目の經驗を積んだ丈け、愈よあと半月の目睫に迫つた今年の七夕祭は、既報の如く從來の本町通りから四方に其の區域を擴大して、之迄に無い振ひを見せるであらう事は、森下、坂本、たまる屋等、等の各商店に於ける各種材料の費れ行きや、本場仙台のそれを見學に出掛けた人のある事などに徴しても蓋し想ひ半ばに過ぐるものがある、即ち該催しの中心地たる三丁目では大きな『庭球』の同志討を開、平商本田・岩佐組は磐城三郡木炭組合で陳情

檢査員を增置せよ

濱三郡木炭組合で陳情

今年度の經濟更生村に指定小川の新方針

毎月一回各部落で更生計劃の集ひ

指定村小川の新方針

大井川中佐の防空講演

昨夜町會議事堂で結團式の終べた平町聯合防佐團では昨七日夜七時から各團長以下班長副班長等百餘名が町會議事堂に參集、指導官大井川中佐から各係の任務に就いて約二時間に亘る講演を開き終つて同中佐を團んで座談會を開いた

入場者三萬五千
平署管内七常設館
去月中の成績

平署管内七映畫常設館の去月中の入場者は大人二萬八千六百五十七名、小人五千八百四十八名、合計三萬四千五百五名、此の金額三千五百十三圓四十錢で平館の千四百七十七圓四十五錢（入場者大人七千七百四十八名、小人千四百十三名）

常陽銀行で低利特典貸付開始
一部階級潤さる

平町に支店を有し地方金融界に貢献しつゝある常陽銀行では不動産擔保貸付金が兎角長年月に亘る爲其間擔保價格の變動其他諸種の遺憾あるに鑑み今回低利特典貸付を開始したが左記の如き特典ある處から非常に好評を以て迎へられてゐる

一、返濟期限を一ケ年とし期限内完濟者には利息金の二割を割戻す
一、當初貸付金の二割以上を補充兵として昨七日第一小學校庭で行はれた簡閲點呼又は一割以上を返金し殘

北日本中等學校軟式庭球
磐中と平商出場

仙臺東北學院高等學部主催餘名、芦川運動部長の挨拶の第十三回北日本中等校軟に次で遠沼縣議の祝辭、佐々木庭球部主將並に金土野球部主將の謝辭、中村マネ二百十五名、小人三千百二十名）であると、尙上映々

レヂスタ
―盗まる
平町三丁目藥局堀藥局附近に遺棄してあるを朝方に至つて發見、届け出み店先にあつたレヂスター（在中金五圓餘）を篤取、レ

ディスターのみ同町三丁目星

けふ立秋
が當分は暑い

今日は立秋―風の音におどろいた昔の歌人でなくとも、昨今兩日の夕立後の涼しさでつかり秋の來たことが忙しい人々にも知れた、このまゝで涼しい秋になればいゝが今日の立秋は秋のまゝで涼しい秋になれば秋で、夏は未だとはいへこれはホンの暦の上での秋で、夏は未だ〜去る氣配もなく小名濱測候所でも當分九十度の暑さは覺悟して下さいといつてゐる併しこれから暑さは、氣流その他の關係で風が吹くから七月中のやうにバカに暑い日はあるまいといふ、さうなるとやはり秋は何處かに來てゐるわけだ

にしたヨシ子さんは死を前にしての苦しい息づきの中から

『自分の命はもう望みない、それよりお國の爲に立派に點呼を濟ませて下さい』

との激勵の言葉に陽太郎君は後髪を引かれる思ひで會場に馳せつけ點呼も終りに近い頃遂に妹の訃報を受け執行官からの許可で歸宅したが、その事情をきいた新庄執行官もヨシ子さんの健氣な心根に少らず胸打たれたと云ふ

死に直面して
點呼の兄を激勵！
健氣な八卷ヨシ子さん

死を前にした妹とその兄に永の病床にあつた妹のヨシ子さんが一昨日から危篤を傳へられたので陽太郎君は前夜ねもやらずその看護に努めてゐたが兄の點呼を耳

區長等が共謀して
公有林に無斷火入れ
平署で關係者檢擧

賓輪村高野區長小沼三男哉（三九）同町三番組長高萩俊雄（三八）植林委員遠藤四郎（四六）同白鳥研智（五三）の四名は共謀して去る四月二十四日同區の改選は愈々來る十六日執行する事となつたが現村長村字高野の公有林一町五反歩に無許可で火入れした事發覺、八日平署の取調べを受けたが昨報の如く同村に此種モグリ火入れが相當あるので目下これが一掃に努めて居る

植田支局通信

田人村長選擧 久しく話題となつて居た田人村々長の改選は愈々來る十六日執行する事となつたが現村長蛭田千代之助氏の再選か新顔の出現か目下興味の的となつて居る

植田ラヂオ体操會盛況 學校主催のラヂオ体操會は去る一日より連日勵行中であるが毎朝小學兒童四百五十名乃至五百名、一般町民も五、六十名乃至百名位の參加あり一般に好成績である

兵事々務協議 植田警察署管内召集徴發事務協議會は來る十二日午前九時より同署に於て開催する

秋蒔蔬菜講演 來る十二日午後一時より植田小學校に於て秋蒔蔬菜に就て縣農事試驗場矢ケ崎技師の講演

共同購入々札 植田農會秋蒔種子並に農具、肥料等の共同購入々札は此程執行したが買上金參千圓に達した

迷子 昨夜九時頃平町長橋町で迷子を通行人が發見平署に届け出た結果内郷村宮字町田採炭夫高木喜三女

今晩は北の風晴夕立模様 明日は北東の風曇一時晴

天氣豫報

ミツ（七）ちやんと判り親許に引き渡された

九日

（小名濱測候所發表）

日出 四、五〇 日出後 一〇、〇四
日没 六、三四 月没後 一一、二七
滿潮前八、〇五 滿潮後 一一、三五
滿潮後七、二五 干潮後 一一、二〇

十日

日出 四、五一 月出後 一〇、五〇
日没 六、三三 月没前 〇、三六
滿潮前九、三五 滿潮後 一、四〇
滿潮後八、〇〇 干潮後 一、四〇

往年の罪滅しに
郷里へ公會堂寄附
神谷出身八幡氏の篤行

台灣台北市現住神谷村大字上片寄出身メリヤス製造業八幡喜一氏は、此程生地上片寄部落に敷地及現金八百圓を以て公會堂を寄附し更に小學校ピアノ購入資金の中へ金百圓を寄附し全村から其の篤行を感謝されてゐる

同人は若い頃某事件で刑律に觸れ、或る期間の刑期を濟ませ後、敢然發奮して更生の生涯に入り、服役中習得したメリヤス製造業を創めて刻苦精勵終に今日の巨富を贏ち獲たが少壯奔放時代の行爲に對して贖罪の念已み難くその一端として今回の擧に出でたものであると

同人は若い頃某事件で刑

暑熱への挑戰
（講習會一束）
日本及郷土的學級經營の實際
清水奈良女高師訓導

石城教育部會の夏期講習會の小學教員が受講する筈は來る廿五日より三日間毎日午前九時から平第一校講堂に開くが、講師は著書及びラヂオ放送で知られた教育實際家奈良女高師訓導清水吾氏で『日本的及び郷土的學級經營の實際』と題する講演あり、郡下約五百名女永島、橋本の各教諭が講師となり、体操、走、跳、投、各種球技並に縄跳ひの各種目に亘り郡下の百二十名が受講するので盛會を豫想されてゐる

体操
体育協會石城支部の縣主催郡下小學校教員体操講習會は來る十日より三日間平第一校で開催、抽籤の結果左の通り組合せ決定した
A組 イ（磯原＝大絹）。以上

炎天下の健棒好打
九強剛の爭覇
九、十兩日菊田軟式野球

九、十兩日開催の植田軟式野球大會主將會議は昨七日午後二時より植田小學校にて開催、抽籤の結果左の通り組合せ決定した
A組 イ（磯原＝大絹）。以上
B組 イ（勿來＝營林擧）ロ（小名濱＝植田學生）（イ＝ロの勝者）
（大津＝全植田）（イ＝ロの勝者）

先づ各部落別に委員を振り當て、毎月一回部落中心の常會を開き同席には必ず役場、産業組合、小學校の首脳部が出席して趣旨の徹底を圖る事

今後の更生計劃樹立に關し協議した結果

石城教育部會の夏期講習會は來る廿五日より三日間毎日午前九時から平第一校講堂に開くが、講師は著書及びラヂオ放送で知られた教育實際家奈良女高師訓導清水吾氏で『日本的及び郷土的學級經營の實際』と題する講演あり、郡下約五百名女永島、橋本の各教諭が講師となり、体操、走、跳、投、各種球技並に縄跳ひの各種目に亘り郡下の百二十名が受講するので盛會を豫想されてゐる

七夕を題材に
圖畫教育研究會

圖畫教育研究會石城支部で（を主宰）及び磯中教諭柴田は郡教育部會後援の下に來善登氏が講師となり素描、趣旨の徹底を圖る事

水年村長の椅子爭ひで紛爭を續けてゐる村とは思はれぬ程和氣藹々裡に閉會した

。。。